

ふくいは楽しい！ふくいは安心！ふくいは元気！

広報ふくい

FUKUI CITY

2024

6/10

No.1638

もし、いまここで 地震が来たら、あなたは いのちを守れますか？

能登半島地震から約半年

特集

被災地に学ぶ私たちの防災

5/1に国見小・中学校で行われた合同避難訓練の様子。海岸に近い国見地区では、地震の際の津波に備え、ヘルメットとライフジャケットを着用して高台に避難する訓練を定期的に行っている



LINE



HP



X



Facebook



福しいね!



被災地に学ぶ 私たちの防災

地域の人たちとのつながりを深めておく！

地域で
助け合い、
守り抜く！



危機管理課 主事 奥島

1月4～9日の間、
避難所運営職員として、
石川県珠洲市(奥能登)へ派遣

今回、「自助」の重要性を体感した一方で、地域住民同士の連携やつながり「共助」が、いざというときに力を発揮することを目の当たりにしました。現地では、地元の「自主防災組織」を起点とし、地域一体となって避難所運営に当たっていただけでなく、避難者同士の結束力も強く、辛いときには声を掛け合い、足りない物を互いに補ったり分け合ったりしながら生活を送る姿に、地域のつながりや助け合いの重要性を改めて体感しました。福井市でも、いざというときに地域のみんで助け合える自治体制を築いていくことを目指し、災害対応部局の職員として日々の業務に励みます。

石川県の能登半島を震源として、今年1月1日に発生した最大震度7の大地震「令和6年能登半島地震」。能登半島の一部地域では、今なお過酷な避難生活が長引いているケースも少なくはないといえます。福井からも多くの市民や自治体職員が被災地へ足を運び、避難所の運営に、被災者の生活や命を懸命に支えました。今回の特集では、その経験談やリアルな声から、私たち福井市民の「もしもの備え」を考えま

復旧の目途が立たず、や給水活動などを通して。

「被災者になった自分」をイメージする

被災地のリアル

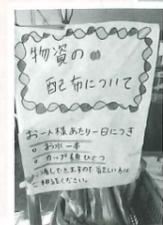
- 食料やトイレのほか、困りごととして多かったのが「風呂」や「着替え」に関すること。1月1日以降、全く入浴できていない人が多数で、数少ない下着の支援物資では限界に達していた。
- 停電や断水が当たり前のように続く避難所という過酷な環境に、北陸の冬の凍えるような「寒さ」が加わり、非常に苦しい状況であった。
- 一部の避難所では、仮設トイレのくみ取りが追いつかず、衛生環境が悪化し、ノロウイルスなどの感染症がまん延したケースもあったという。

今すぐ備えてほしい大切なコト

- ①飲料水や懐中電灯、携帯用トイレや救急医療セットなど、災害時にすぐに持ち出せる「非常用持出品」、避難生活に備える「備蓄品」、「感染症対策品」などを確実にそろえましょう。
 - ②普段から備蓄食品を定期的に消費し、消費した分を補充していく「ローリングストック」を習慣づけましょう。水や食料の備蓄が無理なくできるのがポイントです。
- ※上記の2点を含む市の防災に関する情報は全て『福井市防災ハンドブック』に集約しています。ハンドブックを熟読し、災害時の情報収集や避難所に関すること、地域での備えなど、もしもの備えや対策を万全にしましょう。



福井市防災ハンドブック



避難所では、避難者の命を適切に配布するため、が行われた

命をつなぐ限りある物資日々職員らによる調整

自分の命は
自分で守る！



保健給食課 主幹 山内

1月5～9日の間、
避難所運営職員として、
石川県珠洲市(奥能登)へ派遣

私が支援に当たる中で最も強く感じたのは、「衛生面」への備えの重要性。「もし自分が5日間も風呂に入れず、着替えの下着や歯ブラシもない状況に直面したら」など、日頃から自分が被災者になった場面をイメージする習慣を身に付けておくことで、避難所生活を送る上で非常に心強い備えになると思います。市民の皆さんには、命を守るためにまずは「自助」の備えを大切にしてほしいです。

被災地のリアル

- 能登半島では、昨年5月ごろにも大規模な地震があった。担当した避難所では、その経験を踏まえ、避難者がトラブルなく快適に過ごせるよう「係」を作ったり「班長」制度を設けたりと、すでに高レベルな自治体制が構築されていた。
- 携帯用トイレや歯ブラシ、体温計など、避難所での生活に必要なものを備えている避難者は非常に少なく、避難者同士で支え合い、助け合う習慣がなければ、避難所生活を乗り切るとは難しかった。

今すぐ備えてほしい大切なコト

- ①地域の人たちと連携を深めるため、日頃から近所付き合いを大切に、積極的にあいさつを交わすなど、自分からコミュニケーションを図りましょう。
- ②自分の地区の自主防災組織にはどんな人がいて、災害時には何をしてくれるのかなど、事前に知っておきましょう。
- ③次のページでお知らせする「総合防災訓練」に参加することから対策を始めましょう。

地区を守る防災のリーダー 自主防災組織って？

災害による被害を予防し、軽減するため地域の人たちが自主的に防災活動に取り組む組織で、福井市でも、地域の防災力強化の一翼を担っている。平常時には、避難所の開設を想定した防災訓練の運営や、各家庭への防災用品の点検呼び掛けなど、災害時には、住民の安否確認や被害状況の取りまとめ、避難所での避難者の受付や食料・物資の運搬などに携わる。



地域のボランティアらによる炊き出しは、避難者たちの命をつないだ

特別な支援が必要な人のための避難所 「福祉避難所」を知っていますか

在宅の要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児などで特に配慮を要する人）のうち、「一般の避難所」（学校、公民館など）での避難生活が困難で、避難生活に何らかの特別な支援が必要な人が避難する施設です。現在、市内には143施設あります。一般の避難所へ避難した人の中に特別な支援が必要な対象者がいれば、家族や地域の支援者が福祉避難所へ移送します。家族や地域の支援者は、福祉避難所での避難生活に付き添います。事前に施設から承諾を得て「個別避難計画*」を作成している対象者は、福祉避難所に「直接避難」することもできます。災害時の避難方法の一つとして、日ごろから家族や地域などで話し合っておきましょう。

* 支援が必要な人一人一人を「誰が」、「どこに」、「どのように」避難させるのかを事前に決めておくものです。詳しくは、ホームページをご覧ください。



福祉避難所



個別避難計画

想像以上の悲惨さ、自分の家を過信しない

被災地のリアル

- 比較的弱いとされる旧耐震基準（昭和56年5月31日までに建築確認を受けた建築物）で建てられた建築物が多く、倒壊・損傷した家屋が非常に多かった。
- 倒壊した家屋が道をふさぎ、自衛隊や消防、行政などが「公助」を被災者一人一人に行き届けるための移動ルートが確保できない場所も多かった。

今すぐ備えてほしい大切なコト

- ①旧耐震基準の木造住宅は耐震化を検討するためにも、自宅の耐震診断や耐震補強などを積極的に視野に入れましょう。
- ②新耐震基準（昭和56年6月1日以降に建築確認を受けた建築物）で建てられた建築物を持つ人も、被災後、水道、トイレ、電気などが通常通り使えるとは限りません。家族などで話し合い、自分たちが住む家について考える時間を設けましょう。
- ③家の中の備えとして、震度5強以上の地震を感知した際、自動的にブレーカーを落とし火災事故を防ぐ「耐震ブレーカー」を設置したり、家具の転倒対策をしたりなど、地震による被害を最小限にとどめる努力をしましょう。



木造住宅の耐震診断の申し込みはこちらから

二次被害の防止を通じて命を守る！



建築指導課 主幹 東漸

1月13～15日の間、応急危険度判定職員として、石川県珠洲市(奥能登)へ派遣

私が携わった「応急危険度判定」は、大地震で被災した建築物の耐震性の大切さを改めて体感しました。市民の皆さんを守るため、地震に対するまでの過ごし方ほしいと強く思います。



旧耐震基準と思われる家屋の例。1階部分は完全に倒壊しており、的被害が想定される



余震などによる二次

ある日突然「水」がなくなる心構えを持つ

給水活動を通じて命を守る！



石政

山口

被災地へ給水車を派遣し、被災者に水を配る「応急給水活動」に携わりました。公園や学校、福祉施設や老人ホームなどに足を運び、生活する上で不可欠な「水」を直接届けることで被災者の命をつなぎました。印象的だったのが、地域の団結力が、私たちの業務の限界を助けてくれたこと。水を自力で運ぶことができない高齢者を、地域の若者たちが率先して助けていました。市でも、水がない生活を想定し、もしもの際には地域で助け合い協力できる体制をつくっていかれたらと思います。

水道管路課 主査 石政

1月4～6日の間、応急給水活動職員として、石川県中能登町へ派遣

給水管理事務所 主幹 山口

1月2～4日の間、応急給水活動職員として、石川県中能登町へ派遣

被災地のリアル

- ほとんどの被災者が水をくむ容器を備えてペットボトルを持ってきたり、リュックにボ中に給水したりと試行錯誤していたが、容量
- 地元の婦人会や消防団などによる地域の連秩序が保たれ、被災者同士のトラブルなど一ズに水を配ることができた。

今すぐ備えてほしい大切なコト

- ①事前に、ホームセンターなどで、ポリタンクや給水バッグなどの容器を購入しておきましょう。
- ②長期保存が可能な飲料水を、最低3日分(一リットル)備えましょう。
- ③各小学校の校庭の地下に、地震などの災害日3リットルの3日分ほどの水がくみ取れるが埋まっています。もしもの際のために、場所や利用方法を把握しておきましょう。



非常用利用方法 貯水装置の法などはこちらから

おらず、大量のり袋を入れそのに限界があった。携もあり、終始切なく、スムー

クや給水バッグ 人当たり1日3リ 時に一人当たり1 「非常用貯水装置」 や利用方法を把握

学生たちも被災地へ。災害ボランティアに参加しよう！



福井市医師会看護専門学校3年生 (左から) 塚田さん、木田さん

3月24日、内灘町の社会福祉協議会が受け入れを行う災害ボランティアに参加した、福井市医師会看護専門学校3年生の塚田さんと木田さん。看護師を目指す中で、もともと災害に関する看護業務に関心があった二人。木田さんは、「病院で患者さんを待つだけでなく、現地に足を運び、直接被災者を助ける災害派遣医療の仕事に強い憧れがある」と話します。

今回は、自分たちで石川県のホームページなどを調べてボランティアに参加しました。塚田さんは、「被災地でのボランティアは初めて。最初は緊張が強く、不安だったが、周りの人たちがとにかく明るく寄り添ってサポートしてくれたおかげで、やりがいを感じながら活動することができた」と笑顔で話します。

「ただテレビで見ているだけでなく、苦しんでいる人たちを自分たち

の手で助けることができた。日頃から自分たちの力で何かできることはないかと模索する習慣が身に付いた」と確かな手応えを感じる木田さん。

地震発生時、偶然、石川県白山市のショッピングセンターに出かけていたそうで、「周りの人たちも慌てている中、必死に高台や適切な避難場所を探し続けた当時の状況を今でも鮮明に覚えている。経験したことのない激しい揺れを感じたと同時に、『逃げなきゃ死ぬ』と強く感じた」と話します。塚田さんは、「自分の住む福井に近い能登半島で地震が起きたことで、初めて大地震を『自分ごと』として捉えるようになった」と言います。二人は、「私たちは、携帯電話や住む家など、全てがそろっている状態が当たり前になっている。いつ福井が被災地になってもおかしくない。災害ボランティアに参加しようか迷っている人がいたら、まずは一度被災地へ行ってほしい」と熱く語ってくれました。



ボランティア当日の二人。ブロック塀の撤去や、被災した家庭に残る洗濯機や冷蔵庫の運び出しなどの力仕事に携わる

※令和5年3月に、福井市と福井市医師会看護専門学校は「災害時の人的支援に関する協定」を結んでいます。この協定は、発災時、人員不足が見込まれる福祉避難所で、学生ボランティアとして清潔援助や着替えの補助などの協力をお願いするものです。

福井市総合防災訓練を実施します

市民みんなで参加しよう！

※朝8時にサイレンが鳴ります

市内各地で防災訓練を行います。サイレンを合図に、避難行動を始めてください。

とき 6月23日(日) 8:00～(雨天決行)

※地区により実施日時が異なる場合があります。

ところ 市内の指定避難所(各小学校)

※推進地区：順化地区、社南地区、円山地区、越廼地区

内容 避難訓練、消火訓練、救出・救護訓練 など

※内容が異なる地区もあります。

問合せ 救急救助課

TEL 20-3998 FAX 20-3119



防災訓練の流れ

- ①サイレンを合図に、地震から身を守る行動を取る。
- ②非常持出品を持って、避難場所(公園や広場など)へ避難する。
- ③自治会長などの点呼・安否確認を受ける。
- ④指定避難所(小学校)へ避難する。
- ⑤消火訓練や救出・救護訓練に参加する。



⑥昨年開催の、地域住民と消防団による倒壊建物救出訓練の様子

④昨年開催の、小学生などによるバケツ消火訓練の様子



能登半島地震のような大地震は、いつのようになら発生するか予測できません。また、自分がいつ被災者として、過酷な避難所生活を強いられることになるかも分かりません。だからこそ、今すぐできる対策や備えを万全なものにしておくことが、命を守る上で何より大切です。避難リュックの準備や家具の固定など、まずは簡単にできることから行動に移してみませんか。

問合せ 広報プロモーション課
TEL 20-5257 FAX 20-5438

INFORMATION

●本号に掲載している情報は、5/20現在の情報です。

●最新の情報、詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

●料金の記載のないものは無料です。

●申込欄には、①申込期間、②申込手段、③申込時に必要な情報や書類、を記載しています。

申込の記載のないものは申込不要です。申込欄③に「共通事項」と記載されているものは、以下をお知らせください。

共通事項

行事名、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号

お知らせ

市政出前講座

市の取り組みや施策、事業などについて、職員が分かりやすく説明します。各種団体の勉強会、研修に利用してください。

とき 10:00～21:00の1時間程度(年末年始を除く)

ところ 各グループの市内活動場所
※会場は用意してください。

対象 市内に住むか勤める人たちが構成する団体・グループ

内容 「市政出前講座テーマ一覧表」の中のいずれか

※オンラインでも受講できます。希望する場合は、お問い合わせください。

申込 ①希望日の3週間前まで ②窓口、FAX、Eメール ③申込書

※テーマ一覧表と申込書は、窓口と各公民館にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。

問合せ・申込先 市民サービス推進課(市役所本館1階)

TEL 20-5303
FAX 20-5753

✉ shiservice@city.fukui.lg.jp

緊急地震速報の訓練を行います

市内の屋外スピーカーから一斉に放送が流れますが、訓練ですのでご注意ください。

とき 6/20(木) 10:00ごろ

※放送内容は、TEL 25-2914(ニココリ、フクイシ)で確認できます。

問合せ 危機管理課

TEL 20-5234
FAX 20-5235

「認知症高齢者見守りシール」を導入します

認知症などによる行方不明者が発生したときの早期発見につなげるため、「認知症高齢者見守りシール」を導入します。

登録対象 市内に住み、認知機能の低下により行方不明になる恐れのある高齢者、若年性認知症の人

利用方法 ・登録対象のニックネームや身体的特徴を登録する。

・発行された二次元コード付きステッカーを衣服などに貼る。

・発見者がスマートフォンなどで読み取ると家族などに通知が届く。

・発見者と家族などが伝言板を介して双方向でやり取りすることができる。

申請方法 各地区の地域包括支援センターや担当のケアマネジャー、地域包括ケア推進課にお問い合わせください。

問合せ 地域包括ケア推進課

TEL 20-5400
FAX 20-5426

6月は食育月間です

毎年6月は「食育月間」です。心も体も健康でいるために「食育」を家族で考える月にしてみましよう。

また、市では毎月19日を「家族でいただきます!の日」として、家族での「共食」を推進しています。誰かと食卓を囲む「共食」には、次のようなさまざまなメリットがあります。

- ・規則正しく栄養バランスがとれる
- ・食事のマナーが身に付く
- ・コミュニケーションが増える

問合せ 農政企画課

TEL 20-5420
FAX 20-5740

ブロック塀の安全点検をお願いします

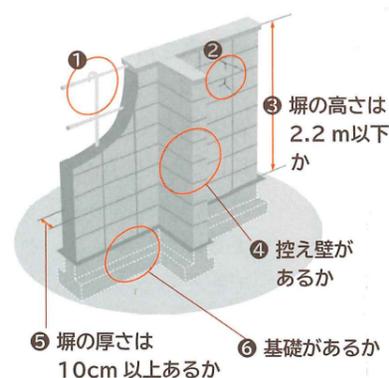
今年1/1に発生した能登半島地震では、ブロック塀の倒壊による被害が発生しました。

ブロック塀の所有者、管理者の皆さんは、安全点検と適切な維持管理に努めてください。

点検の結果、危険性が確認された場合は、通行者への注意表示を行い、建築士や施工業者に相談し、適切な補修や撤去などの対策を行うようお願いします。

点検チェックポイント

- ① 高さ1.2mを超える場合、塀の中に鉄筋が入っているか
- ② 傾きやぐらつき、ひび割れはないか



問合せ 建築指導課

TEL 20-5574
FAX 20-5751

65歳以上の人へ お口の健康を保ちましょう

市内に住む65歳以上の人は、指定歯科医療機関で口の状態をチェックし、かむ、飲みこむなどの口の動きを維持、改善するための指導が無料で受けられます。

利用には歯科口腔指導無料券が必要です。希望する人は、地域包括ケア推進課までお問合せください。治療が必要な場合は、別途治療費がかかります。

問合せ 地域包括ケア推進課

TEL 20-5400
FAX 20-5426

今年度70歳になる皆さんへ

5月に送付している無料受診券のがきを持って受診してください。※紛失した場合は、健康管理センターへお問い合わせください。

問合せ 健康管理センター

TEL 28-1256 FAX 28-3747

個人市・県民税の定額減税が実施されます

物価高に対する国民負担緩和のため、令和6年度分の個人市・県民税において定額減税が実施されます。

定額減税について、詳しくはホームページをご覧ください。

対象 令和6年度の個人市・県民税所得割の納税義務者のうち、前年の合計所得額が1805万円以下(給与収入2000万円以下に相当)の人

減税額 納税義務者本人、控除対象配偶者、扶養親族1人につき1万円

問合せ 市民税課

TEL 20-5306
FAX 20-5748

調整給付金コールセンターの設置

上記の定額減税で、納税義務者本人、控除対象配偶者・扶養親族の人数から算定される減税額が、定額減税前の個人市・県民税所得割額を上回る場合は、その差額を調整給付金として支給します。また、所得税を減税し切れない額についても併せて支給します。

調整給付金について、詳しくはホームページをご覧ください。6/10(月)から設置するコールセンターにお問い合わせください。

問合せ 福井市物価高騰支援給付金事務局コールセンター

TEL 20-5132
(平日の9:00～17:00)
FAX 20-5339

市長ビジョンロードマップを作成しました

市長が掲げるビジョンの実現に向けたロードマップを作成しました。

令和5年度の取り組み、成果をまとめた「第八次福井市総合計画レポート2023」や「令和5年度部局マネジメント方針成果報告書」も併せて作成しました。

詳しくは、ホームページをご覧ください。



問合せ 総合政策課

TEL 20-5283 FAX 20-5768

募集

体育施設指定管理者募集

令和7年4/1～令和12年3/31の5年間、次の体育施設の管理運営を行う法人・団体を募集します。

募集施設 東体育館、西体育館、南体育館、北体育館、美山トレーニングセンター、中藤屋内運動場、西公園テニスコート、わかばテニスコート、きららパーク、美山アンデパンダン広場

要項配布 6/11(火)～28(金)

事前申請 6/24(月)～7/4(木)

※詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問合せ・申込先 スポーツ課

TEL 20-5355
FAX 20-5746

一乗谷あさくら水の駅指定管理者募集

令和7年4/1～令和12年3/31の5年間、道の駅「一乗谷あさくら水の駅」の管理運営を行う法人・団体を募集します。

要項配布 6/11(火)～25(火)

事前申請 6/11(火)～7/9(火)

※詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。

問合せ・申込先 農村整備課

TEL 20-5440
FAX 20-5741

手話通訳者・要約筆記者を派遣します

市が主催する行事へ手話通訳者・要約筆記者の派遣を希望する人は、各行事の担当課または障がい福祉課へ連絡してください。

問合せ 障がい福祉課
TEL 20-5435 FAX 20-5407

健康101チャレンジ

「ふくふく健康101～プラス10分体を動かそう!減塩プラス1皿の野菜を!!」に取り組みませんか。運動や食事などの健康づくりの実践や健診の受診でポイントをためて応募すると、抽選で賞品がもらえます。

対象 市内に住むか、通勤・通学する18歳以上

申込 ①8/31(土)まで(必着) ②郵送、FAX、Eメール ③チャレンジシート

※チャレンジシートは窓口にあります。ホームページからダウンロードすることもできます。

問合せ・申込先 〒910-0853

福井市城東4丁目14-30
健康管理センター

TEL 28-1256

FAX 28-3747

✉ hoken@city.fukui.lg.jp

みんなの力で越美北線盛り上げ事業の募集

越美北線の沿線住民による利用促進活動に対する補助金です。

対象 福井市、大野市に住む人たちが構成された団体

対象事業 空間整備や利用促進キャンペーンなど、越美北線の利用促進やまちづくりに資する事業

募集期間【第1次募集】6/3(月)～28(金)

【第2次募集】7/1(月)～31(水)

【第3次募集】8/1(木)～30(金)

※それぞれ予算額を上回る募集があった場合、事務局で選考します。

申請前に電話で相談してください。

問合せ・申込先 越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会事務局(大野市交通住宅まちづくり課内)

TEL 0779-64-4815

FAX 0779-66-1118

納期限は7/1(月)です

市・県民税・森林環境税

全期一括または1期

納税は便利な口座振替で

イベント

養浩館庭園 岡倉天心お茶会

とき 6/16(日) 10:00～12:00、
13:00～15:00

※茶券の販売は14:30までです。

ところ 養浩館庭園

入席料 800円(菓子代を含む)

※家庭の日(第3日曜日)のため、入園は無料です。

問合せ 文化振興課

TEL 20-5367

FAX 20-5670



養浩館庭園 あじさい 花かざり—紫陽花—

とき 6/22(土)、23(日)、29(土)、30(日)
9:00～19:00

※入園は18:30までです。

ところ 養浩館庭園

入園料 220円

問合せ 文化振興課

TEL 20-5367

FAX 20-5670



休日納税相談

とき 6/22(土) 9:00～12:30

内容 窓口と電話による相談

持ち物 マイナンバーカードや運転免許証など、本人確認ができるもの

※本館東側地下1階の時間外出入り口から入ってください。

問合せ・ところ

納税課(市役所本館2階)

TEL 20-5330

FAX 20-5339



マイナンバーカード 休日窓口の開設

とき 7/14(日) 9:00～12:00、
13:00～16:00

内容 マイナンバーカードの申請、受け取り、電子証明書の更新、暗証番号の再設定

※事前予約が必要です。

問合せ・ところ・申込先

市民課(市役所本館1階)

TEL 20-5736

FAX 20-6032



アロハ・フェスティバル・フクイ2024

とき 6/16(日) 11:00～16:00

ところ ハピテラス

内容・ハワイアンミュージックに合わせたフラステージ

・ハワイアンレイ作り体験
・トロピカルジュースの販売 など

問合せ にぎわい交流施設

TEL 20-2901

FAX 20-2071



移動図書館in中央公園

とき 6/18(火) 11:30～13:30
(小雨決行)

ところ 中央公園

内容 移動図書館車あじさい号で本を借りることができます。

問合せ 市立図書館

TEL 20-5000

FAX 20-5002



「福井市こどもの本大賞」ブックトーク

令和6年に発刊された児童書から、子どもたちの投票によって大賞の本を決定する「福井市こどもの本大賞」。令和6年上半年に出版された本の中から、司書が選んだ大賞候補のお薦め本を紹介します。

とき 6/23(日) 10:30～11:30

対象 小学4年生以上

問合せ・ところ みどり図書館

TEL 34-8859

FAX 34-8499



ふくいメロンまつり2024

とき 6/21(金) 13:00～19:00、
22(土)、23(日) 10:00～16:00

ところ ハピテラス

内容・福井産メロンの販売

・カットメロンの食べ比べ
・メロン&フルーツを使ったスイーツ販売 など

問合せ にぎわい交流施設

TEL 20-2901

FAX 20-2071



新しい市立図書館でおはなし会をします

とき 6/23(日) 11:00～11:30

対象 5歳～小学生

内容 ろうそくに火をつけて、日本と世界の昔話や物語を語ります。

問合せ・ところ 市立図書館

TEL 20-5000

FAX 20-5002



企画展 七夕

とき 6/24(月)～7/7(日)
9:30～17:30

※6/29(土)と7/6(土)はナイター開館日のため20:00まで開館します。

内容 七夕に関する伝説や星空、福井の風習についてのパネル展です。

問合せ・ところ セーレンプラネット

TEL 43-1622

FAX 43-1644



有料広告欄

建物のお悩み何でもご相談ください

地域密着 屋根・外壁の塗装・板金・瓦工事

解体・エクステリア 施工後のアフターサービスも万全

- 新築以外のリフォーム全般
- 銀行リフォームローンご利用可能
- 調査/お見積もりは無料

各種リフォーム 承ります!

株式会社 **フクイ装建** ☎0776-26-5220

〒910-0004 福井市宝永1丁目20-7 **フクイ装建** 検索

広告内容を福井市が推奨するものではありません。
広告申込先 日勝アド・エージェンシー (TEL 21-0081)



6月は環境月間 「環境フェア」で環境について考えよう

とき 6/29(土) 10:00～15:30 ところ ハピテラス

福井市環境推進会議会員企業によるブース出展

環境に関する取り組みを知ることができます。各ブースを回ってクイズに全問正解すると、お菓子のプレゼントがもらえるクイズラリーも開催します。

じかん 10:15～

定員 100人(先着順・会場受付)

※総合案内で回答用紙を配布します。

BEV展示&最新モビリティ試乗コーナー

バッテリー式電動自動車(BEV)を展示するほか、トヨタの最新電動モビリティ「C+walk T」と「C+walk S」に試乗できます。

じかん 10:30～15:00



C+walk T



C+walk S

ステージ企画

◆大道芸人ナツ氏によるジャグリング・ショー

じかん 10:30～11:00

内容 国内外で活躍するパフォーマーのステージです。

◆エコ紙マンによる紙リサイクル教室

じかん 11:30～11:50

◆安済知佳氏によるトークステージ

じかん 13:45～14:30

内容 すまいるバスの車内アナウンスでおなじみの人気声優、安済知佳氏が登場します。



大道芸人ナツ氏



安済知佳氏

エネルギー体験ブース

◆ソーラーカー工作

じかん 10:30～14:15(12回・各回30分)

※10:00から整理券を配布します。

定員 各回3組(先着順・会場受付)

参加費 1組100円

◆手回し発電機・人力発電体験

じかん 10:30～15:00

内容 自分で電気を作り、おもちゃを動かします。

まだまだ使えます! 抽選会

一度は捨てられてしまったものの、まだまだ使える自転車が抽選で当たります。

対象 市内に住むか通勤・通学する、当日自転車を持ち帰ることができる人

受付時間 10:15～12:15

※抽選結果は、12:30に発表します。

自転車は防犯登録代(600円)が必要です。

オリーブの苗木プレゼント

じかん 10:15～

定員 150人(先着順・会場受付)

子ども靴の下取りサービス

1足につき、西武福井店の子ども服売場で使える500円割引券1枚と引き換えます。

ふくいMaaSブース

「ふくアプリ」からデジタル切符を購入し、公共交通機関で来場した人に、先着で公共交通グッズを差し上げます。



フードドライブ受付

食品ロス削減に向け、賞味期限が1か月以上ある常温保存できる食品を募集し、福祉団体などに寄付します。

募集する食品など、詳しくはホームページをご覧ください。



問合せ 環境政策課

TEL 20-5609

FAX 20-5754



戦災・震災犠牲者追悼式

とき 6/28(金) 10:50～
ところ 足羽山西墓地戦・震災犠牲者慰霊碑塔前
※現地には駐車場がないため、市役所からマイクロバスを運行します。(10:20出発)
11:00のサイレンに合わせ、黙とうをお願いします。
問合せ 福祉政策課
TEL 20-5786
FAX 20-5708



福井歴史・地理講座

とき 6/29(土) 14:00～15:30
対象 高校生以上
内容 福井大学教授門井直哉氏による、古代の交通と越前・若狭をテーマにした講座です。北陸新幹線福井開業を機に福井県の交通に関する歴史地理景観の変遷を探ります。
定員 60人(先着順)
申込 ①6/15(土)から②電話、Eメール③共通事項
問合せ・ところ・申込先
市立図書館
TEL 20-5000
FAX 20-5002
☒ tosyokan@city.fukui.lg.jp



グローバルフェスタ 2024

世界の文化に関するクイズに挑戦したり、海外の音楽に合わせて踊ったり、世界旅行気分国際交流を楽しみましょう。
とき 6/30(日) 11:00～16:00
ところ ハピテラス
内容 海外の文化を紹介するブース・歌や踊りなどのステージパフォーマンス
・出前図書館による海外絵本の紹介
問合せ (公社)ふくい市民国際交流協会
TEL 97-5020
FAX 97-5022



もしもに備える！お金の知識

福井県金融広報委員会と共催で、お金に関する講座を開催します。関連本の特設コーナー(8/18まで)も設置します。
経済金融講座
とき 6/29(土) 10:30～12:00
対象 高校生以上
内容 「世の中から、福井から金融を知ろう！一資産運用の基本とリスク」。北陸財務局福井財務事務所理財課長の浦川勝則氏から、世の中の動きと身近なお金の関係や資産運用について聞きます。
定員 30人(先着順)

資産活用講座

とき 6/27(木) 13:30～15:00
内容 「知っておきたい相続—今からできること—」。行政書士の青木克博氏から、今年から義務化が始まった「相続登記」など、相続の仕組みについて聞きます。
定員 24人(先着順)

節税講座

とき 7/4(木) 13:30～15:00
内容 「知っておきたい節税—保険・不動産活用法—」。税理士の安田圭介氏から、税の仕組みと節税の事例について聞きます。
定員 24人(先着順)

いずれも

申込 ①6/15(土)10:00から②窓口、電話
問合せ・ところ・申込先 みどり図書館
TEL 34-8859
FAX 34-8499



未来創生セミナー(旧創年セミナー)

とき 7/4(木)、8/8(木)、9/12(木)、10/10(木)、11/7(木) 19:00～20:30
ところ アオッサ 会議室 502 (8/8のみ6階和室A・B)
対象 市内に住むか勤める40～60代の人
定員 20人(抽選)
参加費 500円(8/8のみ)
申込 ①6/21(金)まで②電話、Eメール
問合せ・申込先
中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538
☒ cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp



子育てラボ

とき 7/3(水) 10:00～11:30
ところ アオッサ 研修室 603
※ウェブ会議ツール「Zoom」で受講できます。
対象 市内に住むか勤める子育てに関心のある人
内容 福井県立大学の吉弘淳一氏による「子どもの健やかな成長を促すより良いかわりー親の自己分析からの方法ー」をテーマにした講演です。
定員 20人(抽選)
申込 ①6/25(火)まで②窓口、Eメール、ホームページ③共通事項、子どもに関わっている立場(保護者、祖父母、児童館や児童クラブの職員など)
問合せ・申込先 中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538
☒ cyuou-k@mx1.fctv.ne.jp



七夕講演会

とき 7/7(日)
第1部 福井工業大学公開講座
じかん 13:00～14:00
内容 福井工業大学教授宮本祐介氏と国立天文台天文情報センター普及室室長梅本智文氏による「天の川ってなんだろう？」をテーマにした講演会です。
第2部 特別サイエンスカフェ
じかん 14:30～15:30
内容 梅本智文氏による「電波で輝く天の川銀河—野辺山45m電波望遠鏡による銀河面サーバイー」をテーマにした話です。
いずれも
定員 各回150人(先着順)
申込 ①6/15(土)9:30から②窓口、電話
問合せ・ところ・申込先
セーレンプラネット
TEL 43-1622
FAX 43-1644



Yahoo! 防災速報

緊急地震速報や津波、大雨、避難の情報など、福井市のさまざまな災害情報を、アプリで通知します。



子どもアトリエ 海賊船をつくろう

とき 7/14(日) 14:00～16:00
対象 小学1年生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
定員 25人(抽選)
参加費 1500円
申込 ①7/4(木)まで(必着)②往復はがき③共通事項、学校名、学年
問合せ・ところ・申込先 〒918-8112 福井市下馬3丁目1111 市美術館
TEL 33-2990
FAX 33-3114



スマホ教室 初心者対象3日間コース

とき 7/10(水)～12(金) 10:00～12:00
ところ アオッサ 会議室 502
対象 市内に住むか勤める人
定員 10人(抽選)
申込 ①6/25(火)まで②往復はがき③返信先の住所、氏名、電話番号、スマホの機種
問合せ・申込先 〒910-0858 福井市手寄1丁目4-1 中央公民館
TEL 20-5459
FAX 20-1538



シルバー囲碁・将棋大会

とき 7/18(木) 9:00～
ところ 市民福祉会館 小ホール(フェニックス・プラザ2階)
対象 市内に住む60歳以上
※アマチュアの人に限りです。
参加費 福井市あじさい元気クラブ会員800円(昼食代含む)
・一般参加者 1200円(昼食代含む)
申込 ①7/5(金)まで②窓口③申込書、参加費
※申込書は窓口、各公民館にあります。キャンセルの場合、参加費は返金しません。
問合せ・申込先
福井市あじさい元気クラブ事務局
(市役所別館1階 地域包括ケア推進課内)
TEL 20-5400
FAX 20-5426



健康講座 循環器疾患予防

とき 7/18(木) 14:00～15:30
※受付は13:30からです。
内容 福井循環器病院院長大里和雄氏による心疾患、動脈硬化症などの原因、予防法についての講座です。
定員 60人(先着順)
申込 ①6/17(月)から②電話、FAX、ホームページ
問合せ・ところ・申込先
健康管理センター
TEL 28-1256
FAX 28-3747



自然史講座 昆虫標本の作り方教室

とき 7/20(土) 9:30～16:00
対象 小学3年生～中学生(小学生は保護者同伴)
内容 昆虫標本作製の実習です。
※初級と上級のコースがあります。
定員 各コース8人(抽選)
参加費 100円
申込 ①7/3(木)まで(必着)②往復はがき③共通事項、希望コース
問合せ・ところ・申込先 〒918-8006 福井市足羽上町14-7 自然史博物館
TEL 35-2844
FAX 34-4460



1対1のお見合い婚活 恋するオトナ婚

とき 7/21(日) 13:00～17:00
ところ 福井県国際交流会館
対象 県内に住む、誠実に結婚を希望する26～40歳の独身男女
内容 ・今すぐ使える婚活ワンポイントアドバイス
・みんなと話せる1対1のお見合い
・フリータイム
定員 男女各20人(抽選)
申込 ①7/7(日)まで②ホームページ③共通事項
問合せ・申込先 女性活躍促進課
TEL 20-5353
FAX 20-1538



有料広告欄

乾癬市民公開講座 in 福井

乾癬(かんせん)は、皮膚が少し盛り上がった赤い発疹(ほっしん)の上に、銀白色のフケのようなものがくっつき、ボロボロとはがれ落ちる皮膚の病気です。人によっては皮膚だけでなく、爪が変形したり、指の関節やアキレス腱など腫れたり痛んだりして、生活にも影響をおよぼす可能性があることから、適切な治療を行うことが重要です。

プログラム詳細は▶



参加無料

開催日時

2024年6月30日(日)

10:00～12:00
(開場:9:30)

開催場所

どなたでもご参加いただけます
福井県民ホール(アオッサ 8F)
福井市手寄1丁目4-1

〈問い合わせ先〉市民公開講座事務局(株式会社トラスト・システム内) 0120-155-615 受付時間:平日10:00～17:00 主催:マルホ株式会社

広告内容を福井市が推奨するものではありません。 広告申込先 日勝アド・エージェンシー (TEL 21-0081)



ボランティア講座 国際交流コース

福井に住む外国人との交流を通し、互いの言葉や文化の違いを知ること、日常的にあなたができることについて考えてみませんか？ 講義と体験の全2回の講座です。

	とき	内容	ところ	定員
講義 (共通)	7/20(土) 13:20～16:00	【講義】福井在住外国人の現状について 【事例発表】多文化共生に取り組んでいる4団体の活動紹介など	総合ボランティアセンター (ハピリン4階)	35人
体験 (二つ選択)	A 日本語学習 サポートコース	交流型日本語広場「しゃべり場」での参加者との交流を通じたサポート	総合ボランティアセンター (ハピリン4階)	15人
	B 日本語学習 サポートコース	福井在住のベトナム人が集まる「日本語勉強会」での参加者との交流を通じたサポート	総合ボランティアセンター (ハピリン4階)	10人
	C イベント サポートコース	「クッキングワールドツアー」での運営サポート	アオッサ6階 調理実習室	10人

対象 国際交流に関心がある高校生以上

※18歳未満は、保護者の同意が必要です。

申込 ①6/15(土)から(先着順)②ホームページ③共通事項、希望する体験日

問合せ・申込先 総合ボランティアセンター

TEL 20-5107 FAX 20-5168



ようこそ！能の世界へ

とき 8/4(日) 10:30～16:00

ところ ハピリンホール(ハピリン3階)

内容 能を観たことのない人も楽しめるワークショップと能楽鑑賞を組み合わせた企画です。

入場料【前売り券】一般3000円、高校生以下1500円

【当日券】一般3500円、高校生以下2000円

※チケットは、にぎわい交流施設事務所(ハピリン3階)で購入できます。

問合せ にぎわい交流施設

TEL 20-2901

FAX 20-2071



臨時休館

東山健康運動公園

6/25(火)～28(金)

《設備機器点検・清掃のため》

TEL 54-9190 FAX 54-9179



ふくチャンネル 番組情報

福井ケーブルテレビ(地デジ121ch)の行政チャンネル「ふくチャンネル」では、福井市の施策や地域の情報、身近な話題などを放送しています。

番組名	内容	放送期間
いきいき情報 ふくい	所有者不明土地解消に向けた取り組み —相続登記の申請義務化—	6/1～30
福アワセ	福井の短歌に触れる旅—橘曙覧、紫式部—	6/1～30
市役所情報局	郷土の偉人「食育の祖」石塚左玄	6/1～30

※放送時間や内容は、変更することがあります。詳しくは、広報プロモーション課のホームページをご覧ください。



YouTubeで
配信中！

福井ケーブルテレビ「ふくチャンネル」で放送している番組の一部は、YouTubeチャンネル「福井市広報課ふくチャンネル」でも配信しています。「チャンネル登録」をすると、更新のお知らせが届きます。



5/1の人口と世帯

人口 25万4777人
(前月比+275)

世帯 10万8070世帯
(前月比+487)

BACK to that FUKUI

あの日の福いネ！

福井の昔の写真を、学芸員の解説を添えて紹介します。



足羽山のアジサイを観賞する子どもたち(昭和54年)

長い梅雨に安らぎを与えてくれる 福井市の花アジサイ

梅雨の時期になると、福井市のまちの至る所で、大小さまざまで色とりどりのアジサイが咲き誇ります。福井市とアジサイの関わりは、昭和29年、復興都市計画事業として足羽山自然公園の整備が進められ、観



(写真左)市制90周年記念で福井市に指定されたアジサイ(昭和54年)。(右)中央公園で市民にもアジサイとマツの苗が配られた(昭和54年)

賞植物園に1000株のアジサイが植樹されたことに始まります。さらに昭和44年、市制80周年記念事業により8000株が追加で植樹され、現在は1万1000株のアジサイが足羽山を彩っています。

昭和54年、市制90周年のときに「市の花」を公募したところ、総数2480通、108品種の応募の中、アジサイが576通で1位となります。開花期間が長く、憂鬱な梅雨の季節に心を慰めてくれることや、足羽山や各家庭で多く栽培され、市民に広く育てられていることが選定の理由でした。なお、同時に「市の木」としてマツが選ばれており、年中青々とした緑のシンボルで、冬の寒さに強いという性質が、「不死鳥福井」にふさわしいということで決まりました。

市内では、足羽山あじさいの道のほか、大安禅寺や狐川あじさいロード(社北地区)、中央公園周辺などにも多くのアジサイが植えられ、人気を博しています。

BOOK LABO

今月のテーマ
「災害と向き合う」

図書館司書が本を紹介します。

『豪雨の災害情報学』

牛山 素行 著(古今書院)

平成11年から17年に発生した日本の豪雨災害について、筆者のフィールドワークや気象観測データの数値分析などを通じ、現地でのどのようなことが起こっているかを、過去との比較を含めて考察している。

さらに、災害情報が周知される方法や周知されるタイミングが、災害時の初期行動に与える影響についても触れている。情報を生かす方法について、共に考えたい。

豪雨の災害情報学

牛山素行



古今書院

『天災ものがたり』

門井 慶喜 著(講談社)

明暦3年江戸大火、宝永4年富士山噴火、明治29年三陸沖地震、昭和38年豪雪など、歴史に残る災害を題材にした短編小説集。

治水を目的に堤防造りに挑む武田信玄や、津波に備え高台へと地区の移転を試みる漁師など、科学や技術が未発達な時代ながらも自然災害に対処し、立ち向かおうとする人々の暮らしや人生を描いている。



金魚絵師

深堀隆介展

—水面のゆらぎの中へ—



「百濟」2004年



「金魚酒 命名 鈴夏」2021年

金魚に魅せられ、創作を続ける美術作家・深堀隆介氏は、透明樹脂にアクリル絵具で何層にも重ねて描く「2.5D ペインティング」とも称される斬新な技法により立体感のある金魚を作り出してきました。

本展では初期の立体作品から、絵画、映像、大規模なインスタレーションなど、新作を含む約300点を紹介します。

6/8 (土) ~ 7/28 (日) 9:00 ~ 17:15

※入館は16:45までです。6/8は10:00に開場します。

休館日 毎週月曜日(7/15、22は開館)、7/16(火)

観覧料 一般1200円、高校・大学生800円、小・中学生500円

※団体料金など、詳しくはホームページをご覧ください。



福井市美術館 [アトラボふくい]

TEL 33-2990
FAX 33-3114